

ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線

～芸備線再構築協議会で取り組む実証事業と再構築方針～

地域交通課芸備線対策係 ☎0824-73-1171

7月16日に広島市で開催された第7回芸備線再構築協議会の内容を、3回にわたって報告します。

第3回目となる今回は、JR西日本広島支社長の発言および会議資料「持続可能で豊かな地域づくりに向けたJR西日本の取組」の内容について掲載します。

1 地域づくりへの関わり

再構築後の地域でどのような課題やニーズが生じるのか、自治体や地域の皆さんの意見を聞きながら、交通だけでなく、生活・地域ビジネス・環境・観光振興などさまざまな分野で「共創」に取り組んでいきたい

主な取り組みの例

- | | |
|---|---|
|  地域の将来ビジョンの共有 |  地場産業の支援・商品開発 |
|  観光振興 |  交流人口の創出 |
|  環境 |  地域ビジネス |

 本市が進める「庄原版コンパクト+ネットワーク」の考え方も、再構築と密接に関わるものです。

2 交通の考え方

今よりもご利用しやすく持続可能性の高い地域交通体系とするために



鉄道による再構築の場合

- 上下分離方式を想定し、JR西日本が運行主体に
- 増便など、利便性を高める取り組みを自治体と協力して実施

費用の考え方

初期整備費用
JR西日本が1/3を負担

運行費用
運行に必要な人件費や動力費をJR西日本が負担



他の交通モードによる再構築の場合

- 増便・時刻設定、学校・病院への経由など、柔軟な運行が可能なバスを中心とした体系を想定

費用の考え方

初期整備費用
車両購入費やバス停設置費用などをJR西日本が負担

運行費用
欠損額の一定期間分を算出し、JR西日本が拠出

3 自治体への対応

JR西日本から今回説明した内容について、今後、各自治体を個別に訪問し、改めて説明や意見交換を行いたい



今回のJR西日本からの説明は、鉄道またはバスなどのどちらかに決定したことを示すものではありません。

協議会では今後、交通の利便性や持続可能性など、さまざまな視点から比較・検討を進め、地域にとってどのような交通体系が望ましいのかを議論していきます。



実証事業の最新情報はこちら
(市ホームページ)



調査結果・資料はこちら
(中国運輸局ホームページ)